

狛江市民の約8割が保有するマイナンバーカードを行政手続きで活用し、利便性の向上と業務の効率化を図るため、「書かない窓口システム」を導入します。各種証明書の申請やライフイベント(転入・転出・転居、結婚、出産等)にかかる手続きについて、来庁者は申請書等を窓口で記入する必要はなく、必要事項を職員に答えるだけで希望する申請手続きが完了することになります。

## ■導入の範囲

- 市民課における各種証明書の申請や住民異動届の作成
- 転入や出生などによる行う手続き(児童手当、医療証、学校の転入手続き等)

## ■導入時期

令和6年12月(予定)

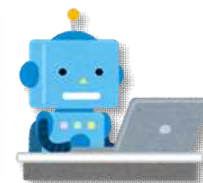
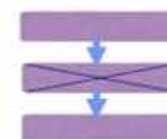
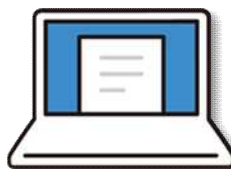
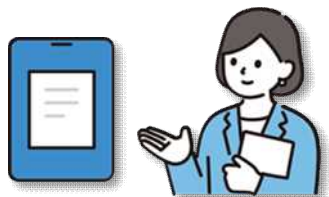
## ■補正予算額

6,213千円(東京都市長会 窓口DX推進事業助成金を活用)

## ■業務のDX(手続きイメージ)

### 窓口(フロントヤード)

### 内部事務(バックヤード)



職員が窓口でヒアリングを実施。**ガイダンス機能**の質問に回答してもらい、必要な手続きを絞り込む。

マイナンバーカード等から氏名・住所等の情報を自動入力

他に必要事項を入力し、紙ではなくデータで申請書が完成

入力した情報は次に手続きする課に連携し、**ワンズオンリー**を実現

**BPR**により、業務フローの簡素化等を実施。将来的には基幹システムとの連携により自動入力

## 市民目線に立った窓口サービスの充実・深化

### ガイダンス

いくつかの質問に回答してもらうことで、その市民に応じた転入届け出後に必要な手続きを案内



必要な手続きを「迷わせない」

### カメラOCR

マイナンバーカード等の券面に記載されている氏名・住所等をカメラで読み取り、申請書データに自動入力



マイナンバーカードの利活用入力の負担軽減「書かせない」

### ワンズオンリー

QRコード等を各窓口で読み込み、前の窓口で入力した情報を申請書データに自動入力



同じことを「何度も書かせない」